

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	青木恭子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	長谷川芳子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度名古屋アイリスRCのテーマ

10年間の礎を力に
情熱の持続と感謝の心で
奉仕と生業に尽力しよう

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第461回 例会

2023年10月11日 13:00～

- 司 会 島村恵三・出席・親睦委員
- 斉 唱 君が代、手に手つないで
- 出席報告 出席者数 11名 / 26名
出席率 42.3%
- ゲ ス ト 米山奨学生ラウト・ニラムさん
- ビジター

ニコボックス

- 青木恭子 会長
こんにちは、本日はラウトニラムくんのお話を楽しみにしています。宜しくお願い致します。
- 長谷川芳子 幹事
ラウトさん、卓話よろしくお願ひ致します。
- 岩崎幸弘 青少年奉仕委員長
ラウトニラムさん、卓話でいっぱい笑わせてくれ！しっかりやってね。

会長挨拶



ご自愛頂いてますか？朝夕もしくはお昼間もまだ1か月前の9月には熱中症とやらに夢中で暑さに振り回されておりましたのに1か月足らずで冬のカーデガンが時に必要という気候の変化です。昨日、伊勢自動車道をドライブ致しましたら、まだ山は緑一色！秋の気配はありませんでした。

昨日は久しぶりに伊勢神宮に参りました。爽やかな風と五十鈴川のせせらぎの絶え間ない流れの音に安らかな気分を味わって参りました。表千家茶道の家元、千宗左の献茶儀式が、内宮神楽殿で行われ参加して参りました。その中には松下幸之助氏のあるお宅を移築した中での茶会もあり緑濃くせせらぎの音のみの静謐の中で叶匠寿庵の特性の柿と栗の入ったおまんじゅう(和菓子)を頂き宗匠のご説明を聞きつつ、帰り来つ歴史の中に浸ったひと時で御座いました。お伊勢さまと慕われた神宮は広く私と致しましては8900歩という快挙で近年のトップ記録の歩数でした。今はラウト君の卓話を楽しみ聞かせて頂きます。どんなお話が頂けるのでしょうか？

幹事報告



来週の金曜日10月20日は、東急ホテルにて、12時半よりガバナー公式訪問例会です。18日水曜日の通常例会はお休みですのでお間違いのないようにして下さい。

卓 話



演題: 自己紹介
卓話者: 米山奨学生 ラウトニラムさん

本日は、私がなぜこの素晴らしい日本を選択したのか、日本に来てからの感想や今後の展望について、お話しさせていただきたく存じます。日本は私にとって魅力的な国であり、多くのことを学ばせていただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私はネパールの美しい山々に囲まれた小さな村で生まれ育ちました。お父様は国のために働く公務員でしたので、私たちは平穏で幸せな生活を送ることができました。約35年前、ネパールの私の村の近くに日本の三菱という大企業がコンクリート工場を建設されました。そのおかげで、私のお父様はそこでアルバイトをする機会を得ることができました。そして、私の父も日本人の方々と少しずつ交流することができました。父は日本人からの影響を受けたと思いますが、私は子供の頃から時間を厳守することや役割を果たすことを教えられました。自分で何かをしようとすると、必ず最後までやり遂げるという責任感も身につけさせられました。父はとても厳しい方でした。私の住む村には、日本のトヨタが製造したカローラという名前の車を所有している裕福な方がいらっしゃいました。その方にお話を伺ったところ、その車は20年も前に中古で購入されたものだということでした。その車はかなり古くて、走ると煙がたくさん出ていましたが、とても快適に走り、性能も素晴らしかったのです。高校を卒業してから大学に入学しました。一年生のころは、友達がたくさんいて楽しく過ごしていましたが、二年生になると学生数が80%以上減ってしまいました。そのため、私は海外に行って新しい環境で新しいことを

学ぶべきだと考えました。日本について色々と調べてみると、とても魅力的な国だと感じました。そこで、日本に来る決心をしました。

2017年11月27日の月曜日は、私にとって忘れられない日です。その日は、私の人生で最も大切な日だったのではないのでしょうか。そう言っても過言ではありません。私は日本に来る前に、日本の文化や言語についてほとんど知りませんでした。日本に到着してからの最初の1ヶ月間は、とても大変でした。日本語が全く理解できなかつたし、日本の食べ物も好きになれませんでした。ネパールにいる大好きなお爺様とお婆様、血が入ってるネパールの父と母、そして妹と弟のことを思い出しました。そこで私は自問自答しました。一体何故私は日本に来たのでしょうか。日本語がわからないとか、日本の文化を理解できないとか、そんな言い訳をしたくありませんでした。私は、これらのすべてのものに興味を持ち、知らなければならぬと感じました。そして、自信を持って頑張るようになりました。私は、自分から興味を持てば、日本をより深く理解することができると思います。

それから、日本語学校を卒業し、専門学校に進学することができました。専門学校を卒業したのはちょうど2021年のころでした。卒業後は日本で就職したいと考えて、いろいろなところに就職に関する相談に行きました。2021年は新型コロナウイルスの影響で、就職先がなかなか見つからない状況でした。見つかったところも、中小企業が多く、給料も12万円や15万円、18万円程度でした。私は、このような給料で中小企業に長く勤めることが本当に自分の望みなのか、それで自分がやりたい大きなことを実現できるのかということについて、深く悩みました。そして、私は日本のことをもっとよく理解したいと思いました。そのためには、大学に入って様々なことを学ぶ方が良いのではないかと考えました。

そうして、私は大学に入ることを決めました。おかげさまで、中京大学の入学試験に合格し、中京大学に入学することができました。私は大学で、世界の歴史や、それがどのように動いてきたのか、そして現在の世界を動かす要因や、今後の展望などについて、深く学んでいます。私が2年ぐらい前に学んだことは、日本経済というクラスでした。そのクラスで驚いたことの一つは、日本が世界一の国であるにもかかわらず、なぜ30年間経済成長がないのかということでした。もちろん、その原因は一つではありませんが、私が考える大きな理由の一つは、日本は自分をアピールすることが苦手だと思います。今より約20年前や10年ぐらい前まではそれで大丈夫だったと思いますが、今の世界はインターネットが普及してからは急速に変化しています。自分がやっていることを他の人がすぐに真似してしまいます。そのため、常に新しいイノベーションを生み出さなければなりません。自分をアピールしなければならないのです。私は日本が大好きで、将来も日本で働きたいと考えています。ですから、大学を卒業した後も大学院に進学し、自分をアピールするための重要なことであるブランディングに一生懸命取り組みたいと思っています。